

2014（平成26）年度入学試験問題（後期日程）

## 小 論 文

教育学部 学校教育教員養成課程  
小・中学校教科教育コース 社会科教育専修

### 注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、150分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問 題

次の文章は、樋口陽一『いま、「憲法改正」をどう考えるか―「戦後日本」を「保守」することの意味』（岩波書店，2013年，146～163ページ抜粋・一部改変）の一部です。これを読んで、以下の各問に答えなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

## 非公開

- 問1 文章中の下線部①について、「文化帝国主義」とは何か、具体的に述べなさい（400字程度）。
- 問2 文章中の下線部②について、「本質」の違いとはどのようなことか、説明しなさい（400字程度）。
- 問3 文章中の下線部③について、「ある意味で手本よりましなもの」を説明したうえで、それを創る可能性を、著者の考えをふまえて、論じなさい（800字程度）。

2014（平成26）年度入学試験問題（後期日程）

## 小 論 文

教育学部 学校教育教員養成課程  
小・中学校教科教育コース 社会科教育専修

### 出題の意図

この小論文の出題の意図は、将来教師として教育活動を行う際に不可欠な資質について評価するものである。すなわち、社会科学的な文章を読んで、その論理を把握し、著者の主張を読み取ったうえで、設問の趣旨をふまえて論述する構想力及び表現力について、問うものである。